

強迫症への認知行動療法オンライン・国際ワークショップ開催へのご協力をお願い

国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 行動医学研究部  
部長 金 吉晴

### <フォア教授スタッフによる OCD オンライン・ワークショップの開催>

強迫症（OCD）はしばしば治療が難しく、本人、家族の生活に著しい影響を与えています。OCD に対しては認知行動療法の有効性が広く認められていますが、その中でも Pennsylvania 大学不安治療研究センター（Center for the Treatment and Study of Anxiety: CTSA）のフォア Edna Foa 教授による OCD 治療のメソッドは、米国心理学会でも推奨され、治療効果のエビデンスに基づいており、世界的な標準となっています。その大きな特徴は想像エクスポージャーを系統的に組み入れていることにあります。私たちは同治療法のマニュアル、ワークブックを翻訳しており、近日中に出版予定です（<https://www.med.upenn.edu/ctsa/>）

それを期に、日本の参加者のために OCD のワークショップこのマニュアルに基づいた OCD 治療のワークショップを、Foa 先生のスタッフによってオンラインで開催することと致しました。ワークショップは、日米をオンラインで結び、Foa 先生のスタッフが直接講義をし、質疑応答を受け付けます。講義は翻訳されます。また講義終了者は、Foa 先生の教室関係者によるスーパーバイズ(有料)を受ける資格ができ、将来はスーパーバイザーになる道も開けます。通常、このワークショップは4日間連続で開催されますが、今回は日米の時差を勘案し、以下のような形で開催することを検討しています。

開催日時 2024 年 3 月 13 日から 6 月 12 日まで 毎週水曜日午後 9-11 時

計 14 回 合計 28 時間

講師 Sandy Capaldi, Jeremmy Taylor (予定) : Foa 教授の教室スタッフによる

形式 Zoom (予定) を用いた米国からのライブワークショップ

定員 50 名

受講料 1500 米国ドル

対象者 : NCNP による CBT 研修、PTSD の PE 研修の受講者、あるいはそれに準じた CBT の臨床スキルを有する臨床家。国立精神・神経センター精神保健研究所で参加者を選考し、米国に推薦します。

通訳 zoom による自動字幕生成と翻訳機能を使用  
自動翻訳のトラブルに備えて通訳 1 名を同席

講義内容、参加費、参加者定員は Pennsylvania 大学で通常開催されている、OCD ワークショップと同一です。zoom の翻訳機能を使うことによって、逐次通訳による時間の消費がなくなり、米国で通常行われている講義がそのまま受講できます。

詳しい情報は、下記リンクをご参照ください。

申し込み 下記リンクよりお願い致します。

<https://nimh-ncnp.smtg.jp/public/seminar/view/2627>

御多用のところ、恐縮ですが、日本の OCD 治療の体系的な研修教育を根付かせるためのワークショップと考えておりますので、ご協力を宜しくお願い致します。